



宮崎地区の新しい拠点施設

食彩市場「みやざき どどんこ館」オープン!



加美町観光まちづくり協会会報

第 1 号

平成 29 年

6 月発行

4 月 30 日、宮崎地区商店街の活性化を図るため、町づくりセンターと旧山田旅館跡地を活用して、食彩市場「みやざき どどんこ館」がオープンしました。

オープン当日、宮崎地区の方々をはじめ、仙台市や大崎市の方など多くの方々にお出でいただき、約 30 分のレジ待ちとなるくらいの賑わいを見せました。

地元の 70 代の女性の方は、「このように賑わっている宮崎は、久しぶりです。この施設により活気が取り戻せたら良いと思います」と期待を込めて話していました。

この施設は、地元の方々が組織する「みやざき どどんこ館」運営協議会が運営し、地元の新鮮な野菜、特産品、工芸品の販売、並びにお食事「コーヒーや軽食、つきたてもち、おにぎりや定食など」が楽しめます。

- ◇営業時間 10:00～17:00(食堂の営業時間は店舗により異なります)
- ◇定休日 月曜日(祝日の場合は翌日)

平成 29 年度
加美町観光まちづくり協会
通常総会開催

平成 29 年 4 月 27 日(木)、午後 3 時から加美よつば会館において、平成 29 年度加美町観光まちづくり協会通常総会を開催いたしました。

総会では、平成 28 年度事業報告・収支決算報告、平成 29 年度事業計画(案)・収支予算(案)、附帯事項の承認、役員改選についての議事審議を行い、すべて承認となりました。

特に、任期満了に伴う役員の変更においては、理事の互選により府田政之が会長に就任、副会長には早坂利信(留任)と小林貞子(新任)が就任。高橋裕紀と中島信也の 2 名が新たに理事として就任いたしました。



新 役 員 名 簿
会 長 府 田 政 之(就任)
副会長 早 坂 利 信(留任)
副会長 小 林 貞 子(就任)
理 事 米 木 正 二(留任)
理 事 名 倉 智 速(留任)
理 事 二階堂 わ く(留任)
理 事 高 橋 裕 紀(新任)
理 事 中 島 信 也(新任)
監 事 三 浦 静 也(留任)
監 事 田 中 正 志(留任)

○会長就任あいさつ

府 田 政 之

このたびの第三回通常総会におきまして、会長の要職を仰せつかりました府田でございます。す。

なにぶんにも身にあまる重責ゆえ、身の引締まる思い、そして責任を感じております。

創設三年目を迎え、いよいよという矢先、前北原会長の突然の辞任をお聞きし、私自身、副会長という立場でありながら、ご支援、フォローができなかったことに対し、深く反省するところでもあります。

しかし、これまでに北原会長の下、積上げてきた事業計画を、すみやかに実行に移して参りたいと思います。

今、国全体においても観光事業が注目を集めており、加美町でも交流人口の拡大を視野に入れた「アウトドアランドの形成」に取り組んでおります。

今後、会員の増強を計りつつ、観光イベント、物産を主に情報発信基地として各関係機関、団体等、連絡を密にし「町民参加型」の加美町観光まちづくり協会を目指して参りますので、何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任挨拶とさせていただきます。

平成 29 年度事業計画

1 事業方針

平成 29 年度は、昨年度の主な事業を継承しつつ、会員皆様をはじめ、地域住民の皆様や観光、物産関連団体、民間企業団体等、並びに町と綿密なる情報共有のもと連携強化に努め、観光まちづくり推進体制の拡充を図ってまいります。

また、ホームページや SNS、会報等を活用し積極的な観光 PR、情報発信を展開するとともに、本町を訪れる方々の受け入れ態勢の整備にも努めながら「加美町に また行ってみたい」と思っていただけのようなイメージアップに努めます。

事業推進に当たっては、随時、事業内容を検証しつつ的確な事業推進に努め、さらなる交流人口の拡大、地域経済の活性化に向け、町民、観光・物産販売関係団体、町等、そして会員と一丸となって積極的な事業推進を展開してまいります。

2 事業計画

(1) 情報発信、観光 PR 事業

- ✧ ホームページ、SNS の活用
- ✧ 協会情報誌(会報)の発行等

(2) 町民参加型観光資源普及、意識高揚事業

- ✧ 「チャレンジ・加美学」の実施等

(3) 観光推奨企画事業

- ✧ 「加美町 わたしの選んだおすすめ 100 選」の実施等

(4) 地域資源活用によるブランドづくり事業

- ✧ 「ラーメンロード加美町」等のブランド化への取り組み
- ✧ 新たなセット食品の開発(食料関係)等

(5) 観光まちづくり推進体制の整備、拡充と受け入れ態勢の整備事業

- ✧ 会員拡大の取り組み
- ✧ 観光・物産関連団体、町民、町等との個別、合同による情報交換会等の開催
- ✧ 会員構成による委員会の設立
- ✧ 視察研修、研修会等への積極的参加等

(6) 町、民間企業・団体等が主催するイベント事業等への参画、連携・協力及び提案

- ✧ 町、民間企業・団体等が主催する事業への参画、連携・協力
- ✧ 地域の団体等が主催するツアー事業とのコラボレーション
- ✧ 町内外の旅行者・(株)モンベルへのイベント等の企画提案等



受け継がれる伝統 1

勇壮に舞う火伏の虎舞 ～4月29日、中新田地区の伝統行事「初午まつり」が開催～



火伏の虎舞で有名な「初午まつり」が、天気にも恵まれ約44,000人の大変多くの人出の中、花楽小路をメインとして盛大に開催されました。火伏の虎舞は約650年前に、春先の強風により大火の多かった中新田地区で、易の文献にある「雲は龍に従い、風は虎に従う」の故事にならい、虎の威を借りて風をしずめ、火伏を祈願したのが起源といわれています。

色鮮やかな山車とともに町内を練り歩く虎、ときに屋根瓦に登り勇壮に、ときには蔵元「中勇酒造店」の日本庭園で優雅に演舞し、見物客から“やんや”の拍手を受けていま

した。また、中心街には様々な露店が数多く並び、思い思いの買い物を楽しんでいました。一関市から初めて見物に来た60代の夫婦の方は、「素晴らしい祭りですね。多くの人手に驚きました」と話していました。



受け継がれる伝統 2

“どどんこぼっく” 舞う! ～5月3日、

宮崎地区の伝統行事 ～熊野神社春季御輿巡幸～ 宮崎獅子舞が開催～

宮崎地区で5月3日、午前7時20分頃熊野神社本堂にて神事を行った後、境内でほら貝が吹き鳴らされ、獅子舞が始まりました。続いて、笛と太鼓によるお囃子にのって少年による太刀振りと長刀振りの所作がありました。熊野神社春季例大祭です。

付近一帯は、杉木立の木漏れ日と厳かな雰囲気相まって、幻想的な情景に包まれました。

その後お神輿と獅子舞が町に繰り出し、予定されている公共施設の広場、商店、民家などを、一日かけて巡行が行われました。当日は天気にも恵まれ、獅子舞が到着するのを多くの見物客が今か今かと首を長くして待っていました。



加美町「鳴瀬川・薬菜山」がジャパンエコトラック認定

全国で7件目東北では2件目

秀峰薬菜と鳴瀬川の清流により育まれた加美町は、どこか懐かしい里山・田園風景が広がり、子どもから大人まで様々なアウトドアを楽しめるフィールドを形成。また、先人が育み受け継いだ歴史的に価値のある文化や伝統等があります。そんな加美町を最大限に活かし、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図るため、加美町は、全国で7件目、東北で2件目のジャパンエコトラックの認定を受けました。

認定コースは、大崎市や尾花沢市・大石田町に通ずる「347きずなルート」「やくらい周遊ルート」「中新田まぢめぐりルート」「陶芸の里周遊ルート」「やくらいMTBルート」のサイクリングルート、「船形山登山ルート」「最上海道」「薬菜山登山ルート」のトレッキングルート、「鳴瀬川カヌーエリア」「荒沢湿原スノーシューコース」など計10コースです。

懐かしき里山と田園風景を巡る旅

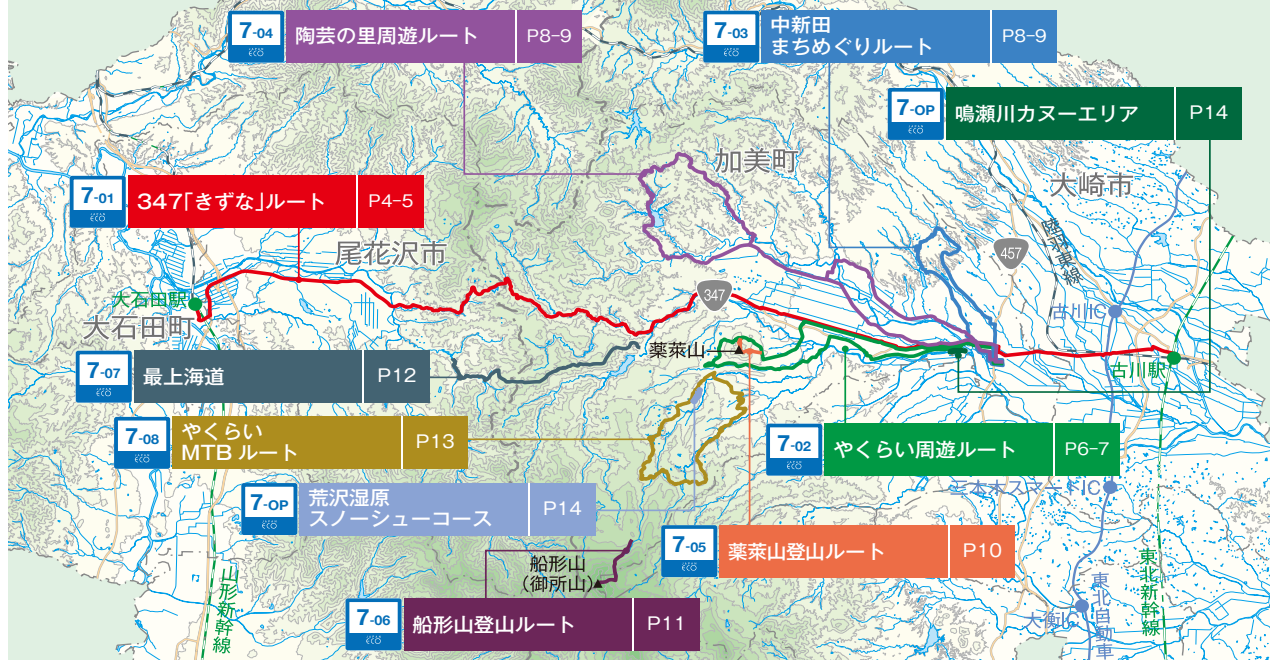
7-01	347「きずな」ルート		距離 63.3 km
7-02	やくらい周遊ルート		距離 40.2 km
7-03	中新田まぢめぐりルート		距離 22.2 km
7-04	陶芸の里周遊ルート		距離 58.0 km
7-05	薬菜山登山ルート		距離 2.1 km

7-06	船形山登山ルート		距離 7.7 km
7-07	最上海道		距離 13.4 km
7-08	やくらいMTBルート		距離 31.6 km
7-0P	鳴瀬川カヌーエリア		
7-0P	荒沢湿原スノーシューコース		距離 2.1 km



宮城県

山形県



「ジャパンエコトラック」とは？

ウォーキング・トレッキング・自転車・カヌーといった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多彩な自然を体感し、地域の歴史や文化に触れ、人々との交流を楽しみながら旅をする、そんな新しい旅のスタイルが「ジャパンエコトラック」です。



**今後の加美町の主な祭り
イベント等(平成29年7月～12月)**

開催日	祭り・イベント名	会場	問合せ(市外局 0229)
7月30日	加美町ドラゴンカー大会	鳴瀬川カーレーシング競技場	生涯学習課 69-5113
8月12日	宵一緒まつり(中新田夏祭り)	中新田花楽小路	加美商工会 63-2734
8月14日	かみ鳴瀬川花火大会 米	あゆの里田川公園	加美商工会 63-2734
8月19日	加美町音楽フェスティバル	中新田花楽小路商店街	商工観光課 63-6000
9月10日	やくらいべごっこまつり	やくらい高原特設会場	商工観光課 63-6000
9月24日	やくらい高原マラソン大会	やくらい高原	商工観光課 63-6000
10月 9日	加美マルシェ	宮崎生涯学習センター	宮崎公民館 69-5123
10月29日	加美町秋まつり	中新田体育館ほか	商工観光課 63-6000

加美町観光まちづくり協会の会員募集

～協会では、ご入会される会員を募集しています。～

加美町観光まちづくり協会は、加美町の豊かな自然、歴史、文化等の観光資源を、地域の皆様、民間企業・団体・事業者、町等との官民協働により最大限に活かし、交流人口の拡大や地域経済の活性化等を図るために平成27年度6月に誕生しました。

是非、この趣旨にご賛同いただき、加美町の観光振興、まちづくりの推進にお力をお貸しく下さい。皆様のご入会を心からお待ちしています。

会 員 数(平成 29 年 4 月 1 日 現在)		1 2 4 会 員	
法人事業者	7 3 団 体	個人事業者	1 6 団 体
個 人	3 0 名	特 別 会 員	2 団 体
賛 助 会 員	2 団 体	名 誉 会 員	1 名

職員紹介

事務局長	伊藤 英一
次 長	鎌田 良一
事務員	今野 茂子
事務員	高橋 強

編集後記

加美町観光まちづくり協会が誕生してから丸2年が経ちましたが、本年度から協会の情報誌として会報を発行することになりました。加美町の「観光・まちづくりについて」の情報や、会員皆様の紹介、イベント・祭り等の旬な情報を積極的に提供し、交流人口の拡大、地域経済の活性化につなげていきたいと思えます。会員皆様からの情報提供もお待ちしております。

発行：加美町観光まちづくり協会 〒981-4292 加美町字西田三番5番地(加美町役場3階)
 電話：0229-63-8008 FAX：0229-63-3398 E-mail：kami-kankou@k-tap.org